

道路事業の取組方針



第3次

晴れの国おかやま

生き活きプラン

重点戦略Ⅱ 地域を支える産業の振興

観光振興プログラム

■観光資源としての自然や文化の積極的な活用

新たな観光需要の喚起や土木・建築に対する理解促進を図るため、ホームページ上で県内の歴史的土木・近現代建築資産を紹介するとともに、フェイスブック「おかやまの土木・建築」で土木・建築分野におけるイベント情報などの発信にも取り組みます。

おかやまの歴史的土木・近現代建築資産

<http://civil-archi.okayama.jp/>

おかやまの土木・建築

<https://www.facebook.com/pref.okayama.doboku>



企業誘致・投資促進プログラム

■交通基盤整備

陸海空の広域交通網のクロスポイントという優位性を生かし、中国横断自動車道岡山米子線の4車線化や地域高規格道路をはじめとする地域間連絡道路の整備を推進するとともに、インターチェンジや物流拠点へのアクセス強化や交通渋滞の緩和に資する道路整備などを計画的に進めます。



生き活き指標

主要渋滞箇所数

50箇所 → 45箇所
(令和元年度末)

※渋滞対策が未実施の箇所数

教育の再生と産業の振興を原動力とする、あらゆる分野への好循環の流れを一層加速させ、前向きになる岡山、すなわち、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現を、引き続き県政の基盤で取り組んでいきます。

道路事業に関しても、このプランに沿って計画的な推進を図り、「生き活き岡山」を実現するために取り組んでいきます。

また、戦略プログラムに盛り込まれていない道路事業についても、各種の個別計画などに基づき着実に取り組んでいきます。

